

民族衣装を着なかったアイヌ

先住民にとっての伝統と現代

アイヌ民族をはじめとする先住民には、しばしば「多数派とどこが同じで、どこが違うか」あるいは「現代の暮らしのなかで固有の伝統をどう守るのか」などの問いが投げかけられます。講師の瀧口氏は自らもアイヌとしてそうした問いに向きあいつつ、自身につながる数名の先住民女性にインタビューをおこない、「一冊の本にまとめました。現在に至るまでの彼女たちの多様な暮らしぶりや、自らの「民族性」「伝統」とどのように向き合ってきたかについてお話しいただきます。

参加
無料

申込
不要

2016年2月23日 火

18:30~20:00(開場18時)

北海道大学人文・社会科学

総合教育研究棟(W棟)103教室

【講師】瀧口 夕美

【プロフィール】

編集者。1971年、北海道、阿寒湖畔のアイヌ・コタンに生まれる。
明治学院大学を卒業後、編集業に携わる。

【編著書】

瀧口 夕美 『民族衣装を着なかったアイヌ —北の女たちから伝えられたこと』

編集グループ SURE, 2013年。

中川 裕

『アイヌ語のむこうに広がる世界!』(シリーズ「この人に会いたかった」第5巻)

編集グループ SURE, 2010年。



※駐車場はございません。公共の交通機関をご利用ください。

イラスト:北沢街子

【主催・お問い合わせ】北海道大学アイヌ・先住民研究センター

TEL/FAX 011-706-2859 E-Mail ainu@let.hokudai.ac.jp Web <http://www.cais.hokudai.ac.jp/>